



下久保ダム探検隊

強くてじょうぶ、環境にやさしい、日本一のダムを探検。学んたり、発見したり、地元の小生たちと楽しく交流もしたぞ。

- 下久保ダム探検隊の子ども記者
- （前列左から）
- 孫田 誠くん
- 伊久岡 大くん
- 佐久間 誠くん
- 石橋 未来さん
- （前列右から）
- 和泉さん
- （前列右から）
- 荒川 彰俊くん
- 青井 秀樹くん
- 岩本 純佳さん
- 藤利子さん



かるとすくごへの視察試合！

深橋隊の行く先は、神奈川県の下久保ダム。群馬県鬼石町など、地下鉄、新幹線、飛行機などさまざまな大みながある。みんなをすくごバスが着いたところは、鬼石町にある道の駅「州おのり」。

強くて、やさしい日本一のダム！

そう、こんにちは、地元・鬼石小学校の子どもたちがみんなをあんないしてくれて、ということになったんだ。それではじめに交流会というわけだ。



かるとすくごく(下)で交流会！

「川いかる」二川の子ども新聞10号とめぐむる水のまろく「回ら」で楽しくあそびました。みんな、はじめは緊張してたけど、たまたまがすすむわつられて、だんだんおしゃべりに。うらにかるた大会は、もりあがたぞー(ちなみに優勝は鬼石小女子チームでした)。

下久保ダムは上毛かるたのモデル

そのあと、村営観光課下久保ダム管理所の金山明広さんから、水やダムにまつわるお話があった。謎にはなくさん、水があるけど、みんなが使える水はほんのおすくご(水)であること。川が流れているのは、じつは太陽のエネルギーによるものであること(なぜかあててらね)。ピントは水の循環のことなど、いろいろな話があった。

もちろん、下久保ダムについても治水や利水などお話を聞いたのは、なかでも、あちよとのおおりのたは、上毛かるたの「理想のモデルに(電灯)のモデルは、じつは工事中の下久保ダムだ」といこと。



下久保ダムの金山さん。知らない人からダムの話を聞く人あつちよ！

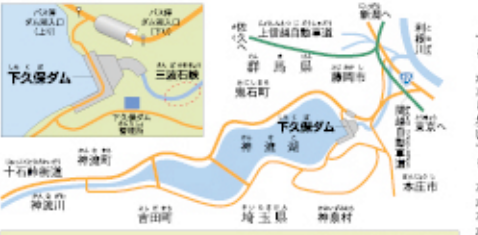
「そうだったのか！」そして、もうひとつ、下久保ダムのヒミツ。それは、ダムの中で日本一長いということなんだって。「え、日本一長いって、いったいどういうこと？」「ながい長いの？」



堤体の長さ、なんと605M！

ということでは、みんなのじょうぶに下久保ダムへ。おし、エランドグリンの水(2)がながれまわっている。その湖を見おろしながら、堤体の上をみんな歩いた。

でも、なかなか歩いても、なかなか向こう岸に



- 下久保ダムのデータ ●ダム湖の位置 ●左岸：群馬県鬼石町と神楽町、右岸：埼玉県深谷市など ●ダムの形式 ●重力式コンクリートダム ●堤体の高さ=129m ●堤体の長さ=605m ●総貯水量=1億3,000万リットル(東京ドーム約105杯分)

「あ、アエが繋がる湖の北限いちばん北にある」といことなんだ。なるほど、知ん



金山さんの楽しい説明を聞きながら、ダム・ウォッチング



●下久保ダム探検隊



みんなをのせて、走る走る! こんな楽しい体験も子ども記者ならでは!



ダム湖めぐりで歴史を学ぶ
 金山さんと一緒に、ボートでダム湖めぐり。探検隊の4人と県立小の1人は、もうすぐ7月くらいに発着。
 男子、女子で代わりばんこにボートの船先(一番前のところ)へ、男子は声に合わせて「ナニ」保持らしい。「女子は「ボー」で「ナニ」保持らしい、映画のタイタニック気分。
 さらにダム湖を上流へ向かうと、左手に小さな島が見えた。
 さらに上流へ向くと、このあたりを曲角(まがり)ぶちといて、おとそ初年度(はつねん)前、ダム建設ができるまでは小学校や中学校があったんだって、もちろんなすすみでいて、ダム建設のためにはひっこしをした。そのおかげで、いまのダムがあるというのだね。
 さらにボートはすすみ、赤い橋(赤比羅橋)の下をくぐり、岩がたくさんつまんでた金山

「どうして、なんとおすたかを演説」
 金山さんのお話では、ダム湖ができて、このあたりは鳥獣保護区になった。それで、ヤマセミなどもたくさんやってくるということだね。
ダムが動く? でも安心!
 次に、みんなダム本体の中へ、エレベーターで着いたのは地下4階。とっても、そこはもう地下から90mだよ。
 ダムの中の湿度計をみると、12度。これは、1年かいう変わらないうんた、夏すしく、冬またたかいう、というわけだ。
 さらに長い階段を下って、地下5階へ、そこに、よく見ると、1本のワイヤー(ワイヤ)綱が下に



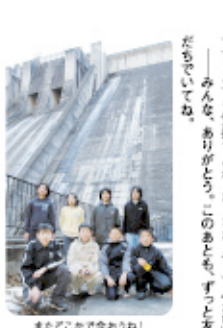
これ、なかに7-ブラムラインに(探検隊)

「どうして、なんとおすたかを演説」
 金山さんのお話では、ダム湖ができて、このあたりは鳥獣保護区になった。それで、ヤマセミなどもたくさんやってくるということだね。
ダムが動く? でも安心!
 次に、みんなダム本体の中へ、エレベーターで着いたのは地下4階。とっても、そこはもう地下から90mだよ。
 ダムの中の湿度計をみると、12度。これは、1年かいう変わらないうんた、夏すしく、冬またたかいう、というわけだ。
 さらに長い階段を下って、地下5階へ、そこに、よく見ると、1本のワイヤー(ワイヤ)綱が下に

「どうして、なんとおすたかを演説」
 金山さんのお話では、ダム湖ができて、このあたりは鳥獣保護区になった。それで、ヤマセミなどもたくさんやってくるということだね。
ダムが動く? でも安心!
 次に、みんなダム本体の中へ、エレベーターで着いたのは地下4階。とっても、そこはもう地下から90mだよ。
 ダムの中の湿度計をみると、12度。これは、1年かいう変わらないうんた、夏すしく、冬またたかいう、というわけだ。
 さらに長い階段を下って、地下5階へ、そこに、よく見ると、1本のワイヤー(ワイヤ)綱が下に



水と砂利でよみがえる三波石堰
 下久保ダムの下流には三波石堰がある。国の天然記念物で、水と岩の美しいところとして知られてきたんだけど、下久保ダムができて、電気を動かすために使った水を通すトンネルを直につくったために、三波石堰への水の流れが少なくなり、岩もよれてしまいうんた、けしきが悪わつてしまつてたんだ。そこで、2003年から、ダムのすぐ下、下に第二発電所をつくり、そこから水を流せるようにした。
 さらに、砂利もいっしょに流すようにした(三波石堰の上流に砂利をおいて、ダムからの放流で砂利を流す)。
 「よも、なぜ、砂利を流すんだろ(う)？」



またどこかで会おうね!

「どうして、なんとおすたかを演説」
 金山さんのお話では、ダム湖ができて、このあたりは鳥獣保護区になった。それで、ヤマセミなどもたくさんやってくるということだね。
ダムが動く? でも安心!
 次に、みんなダム本体の中へ、エレベーターで着いたのは地下4階。とっても、そこはもう地下から90mだよ。
 ダムの中の湿度計をみると、12度。これは、1年かいう変わらないうんた、夏すしく、冬またたかいう、というわけだ。
 さらに長い階段を下って、地下5階へ、そこに、よく見ると、1本のワイヤー(ワイヤ)綱が下に

「どうして、なんとおすたかを演説」
 金山さんのお話では、ダム湖ができて、このあたりは鳥獣保護区になった。それで、ヤマセミなどもたくさんやってくるということだね。
ダムが動く? でも安心!
 次に、みんなダム本体の中へ、エレベーターで着いたのは地下4階。とっても、そこはもう地下から90mだよ。
 ダムの中の湿度計をみると、12度。これは、1年かいう変わらないうんた、夏すしく、冬またたかいう、というわけだ。
 さらに長い階段を下って、地下5階へ、そこに、よく見ると、1本のワイヤー(ワイヤ)綱が下に

「どうして、なんとおすたかを演説」
 金山さんのお話では、ダム湖ができて、このあたりは鳥獣保護区になった。それで、ヤマセミなどもたくさんやってくるということだね。
ダムが動く? でも安心!
 次に、みんなダム本体の中へ、エレベーターで着いたのは地下4階。とっても、そこはもう地下から90mだよ。
 ダムの中の湿度計をみると、12度。これは、1年かいう変わらないうんた、夏すしく、冬またたかいう、というわけだ。
 さらに長い階段を下って、地下5階へ、そこに、よく見ると、1本のワイヤー(ワイヤ)綱が下に